

ニューメキシコ州政府機関が 1 週間足らずで 700 台以上のリモートデスクトップを実現した方法



従業員数

700

ロケーション

ニューメキシコ州、サンタフェ

使命

ニューメキシコ州の法律に従い、税収の徴収と分配を行う

チャレンジ

ニューメキシコ州税務歳入局の IT グループは、Covid-19 の大流行による事業継続のため、Guacamole の実装で構成される既存のリモートデスクトップ環境を局全体に拡大する必要がありました。この必要性により実装範囲を拡大する必要があったので、IT 部門は専門家のサポートを受けられる商用製品を強く切望していました。

解決方法

その部門は、オープンソースのリモートデスクトップ・プラットフォーム Apache Guacamole の Keeper Security 商用版である Keeper Connection Manager のインスタンスを 3 台導入しました。Keeper Connection Manager は、同局が適切に拡張し、さらなるセキュリティのために二要素認証を提供できるように、不可欠なサポートも提供しました。

利点

1 週間以内に、700 人の全従業員が自宅からデスクトップへと安全にアクセスできるようになりました。エンドユーザーは、標準的なブラウザとログイン認証情報だけで、どのデバイスからでもデスクトップにアクセスできるようになりました。セキュリティは維持され、ほぼ通常通りの作業効率で業務が継続されることとなりました。

2020 年 2 月、ニューメキシコ州税務歳入局の IT グループは、COVID-19 により隔離される可能性に備える必要があると認識しました。その準備の一環として、同局の 700 人以上の職員が自宅からデスクトップにアクセスできるソリューションを迅速に導入する必要がありました。セキュリティは IT チームの最優先事項であり、これまで IT ツールとして使用していた Apache Guacamole の実装拡大に向け、専門的なサポートを受けられる商用製品を必要としていました。Keeper Connection Manager を見つけ、評価し、実装しました。

多くの社員がデスクトップを使用しているために、すべての社員が簡単に持ち帰れる仕事用のマシンを持っているわけではなく、社員の個人用 PC に VPN クライアントソフトを展開することは選択肢から外れていたのです。

ニューメキシコ州税務歳入局 CIO の Mike Baca 氏は、「この手段は、ユーザーのデスクトップを遠隔地へと優雅で、安全で、経済的に拡張する効果的で最適なルートを提供してくれました」と述べています。

オープンソースソリューション - Apache Guacamole

この IT 組織は、オープンソースの Apache Guacamole リモートデスクトップ・プラットフォームを 1 年以上使用して、オフィスに行くことなくメンテナンス、トラブルシューティング、アップデートを時間外に実施していました。当初は IT 部門のみでの使用を想定していましたが、他の社員がこの機能の噂を聞きつけたため、IT 部門以外の社員数名にも拡大することになりました。

しかし、その展開規模は小さく、数十人のユーザーをサポートする程度にとどまりました。Apache Guacamole のプラットフォームは、多くの利点を備えていました。

第一に、プラットフォームが安全であること。強力なセキュリティが必須条件でした。エンドユーザーのマシンにクライアントを展開する必要がなく、すべての通信が安全なセッションで暗号化されます。デスクトップ自体が公共のインターネットに公開されることは決してありません。

さらに、Payment Card Industry (PCI) のセキュリティ要件に準拠するため、ニューメキシコ州税務歳入局はエンドユーザーに二要素認証を使用する必要がありましたが、Apache Guacamole なら簡単に実行することができました。

また、従業員にとっても非常に使いやすいものでした。必要なのは、標準的なウェブブラウザと Google Authenticator (Google 認証システム) のスマートフォンアプリだけでした。

これにより、どのデバイスからでもデスクトップにアクセスできるようになりました。LDAP と Google Authenticator は簡単に統合することができます。

プラットフォームは圧縮を最適化し、エンドユーザーのデバイスでの処理量を最小限に抑えるため、高速のパフォーマンスとなっています。

“

Glyptodon [現 Keeper Connection Manager] は、ユーザーのデスクトップを遠隔地へと優雅で、安全で、経済的に拡張する効果的で最適なルートを提供してくれました。

- ニューメキシコ州税務歳入局 CIO、Mike Baca 氏

Keeper Connection Manager に提供されるサポートとソフトウェアにより、迅速な拡張を実現

Cisneros 氏と彼のチームは、既存のリモートアクセス環境を局全体におけるテレワークインフラに拡張するのであれば、そのための商用サポートと製品が必要であることを理解していました。

Keeper Connection Manager は Apache Guacamole の商用版で、バックエンドでの展開がより簡単になるように設計されており、新機能と拡張を可能にするために頻繁にアップデートが行われています。すべてのリリースには後方互換性があり、アップデートによってプラットフォームが破壊されることはありません。Apache Guacamole のソースコードを独自のビルドで使用している場合は、その保証はありません。

Keeper Security ではまた、製品とその実装に関して深い専門知識を持つエンジニアから直接プロフェッショナルなサポートを受けることができます。さらに、Keeper Connection Manager は Keeper Secrets Manager と即座に統合することができます。Keeper ボルト内の特権システムへの接続のためのクレデンシャルをシームレスに管理することができます。

同部門では、最終的に Keeper Connection Manager を 3 つのインスタンスに設定し、負荷分散を行うことで良好なパフォーマンスを確保し、Keeper Connection Manager がそのすべてをサポートすることになりました。700 人の従業員全員が 1 週間以内に稼働することができました。

しかし、自宅待機の命令が解除され、パンデミックが後退した後であっても、ニューメキシコ州税務歳入局は、自宅からデスクトップにアクセスするために従業員は Keeper Connection Manager を使い続けるだろうと予想しています。

“

我々は、堅牢で安全なテレワークモデルを迅速に統合し、Covid-19 の在宅勤務制限を遵守することができました。

- インフラ管理人、Gabe Cisneros Jr 氏

これにより、社員はより柔軟な働き方ができるようになっただけでなく、COVID-19 が再流行したり、悪天候や自然災害で社員が出勤できなくなった場合、追加でロックダウンを行うことができるようになりました。

「このツールを常に利用できるようにしておきたい」と Baca 氏は述べています。「従業員はほぼ通常通りの生産性を実現しており、テレワークや時間外勤務が必要になった場合にも、このオプションを利用できるようにしておきたいと考えています。」

Keeper Connection Manager により組織が仮想サーバー、アプリケーション、デスクトップへの安全なアクセスを提供できる方法に関して興味がありますか? ご連絡ください。

sales@keepersecurity.com

* ケーススタディが書かれた当時の製品名である Glyptodon Enterprise への言及はすべて、現在の名称である Keeper Connection Manager に更新されました。